

第 17 回鈴鹿 F 1 日本グランプリ地域活性化協議会 議事要点録

日 時：平成 26 年 8 月 1 日（金）10：00～11：30

場 所：鈴鹿市役所 本館 12 階 1203 大会議室

出席者：41 名（別紙『組織構成及び出席一覧表』参照）

組織委員 30 名（全 35 名中 出席 16 名，代理 14 名，欠席 5 名）

オブザーバー 1 名

事務局（鈴鹿市）10 名

内 容：以下のとおり（要旨）

1 あいさつ

鈴鹿 F 1 日本グランプリ地域活性化協議会 会長

鈴鹿市長 末松 則子 あいさつ

【要旨】

- ・公私ともに御多忙のところ，第 17 回鈴鹿 F 1 日本グランプリ地域活性化協議会に御出席を賜り，心より御礼を申し上げます。
- ・本協議会は，2008 年 5 月に発足し，既に 2009 年から 2012 年まで，過去 5 回の F 1 日本グランプリを経験してきたが，関係機関の皆様の御尽力により，当協議会の取り組みが，観戦者及び地域住民にとって，大変満足していただけるものとなったことを，この場をお借りして，改めて感謝を申し上げます。
- ・本年，鈴鹿市ではモータースポーツ都市宣言を行って 10 周年という記念すべき年を迎え，さまざまな取組を行っているが，この宣言に掲げた目標を達成するために核となる取組は，鈴鹿で開催される F 1 日本グランプリである。
- ・そういった意味で 2018 年まで鈴鹿 F 1 日本グランプリを継続して開催できることは，大変喜ばしいことであり，開催に向けてご尽力いただいた株式会社モビリティランドを始め，関係者各位には鈴鹿市民を代表して，改めて御礼申し上げます。
- ・本年の F 1 日本グランプリには，2 年ぶりに日本人ドライバーである小林可梦偉選手がこの鈴鹿の舞台に戻ってくる。また，翌年には本田技研工業株式会社が，マクラーレンのパワーユニットサプライヤーとして F 1 へ復帰することが決定しており，再び F 1 が注目され，全国各地から多くの観戦客が鈴鹿へ来ていただけるのではと期待している。

- ・既に、10月のF1日本グランプリに向け、環境整備部会、おもてなし部会の両部会において、交通渋滞の緩和や、おもてなしの向上を図るために、様々な施策に取り組んでいただいているところとは思いますが、今後は将来的な展開もにらみながら、それぞれの取組を進めていただけたらと思っている。
- ・協議会の皆様方としっかりと連携をしながら、これまで以上に強力でそれぞれの取組を進めていきたいと考えているので、引き続きご尽力をお願いする。
- ・有意義な会議になるよう、委員の皆様にご協力をお願いし、冒頭の挨拶とさせていただきます。

2 報告事項

(1) 新規加盟団体について【資料1】

事務局 鈴鹿市 菅沼商業観光課長 説明

- ・資料1『新規加盟団体の承認について』に基づき説明
- ・ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋 石井氏あいさつ

(2) 規約改正について【資料2】

事務局 鈴鹿市 菅沼商業観光課長 説明

- ・資料2『規約新旧対照表』に基づき説明
- ・新規加盟団体の名称追記、株式会社の組織改変に伴う名称変更を説明

(3) 役員の変更について【資料3】

事務局 鈴鹿市 菅沼商業観光課長 説明

- ・伊勢鉄道株式会社の社長交代に伴う監事の変更を説明

3 承認事項

(1) 2013年度決算及び監査報告について【資料4】

事務局 鈴鹿市 菅沼商業観光課長 説明

- ・資料4『2013年度鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会収支決算報告書』に基づき説明
- ・収入10,513,394円、支出10,231,145円、差額282,249円は2014年度へ繰り越し
- ・監査の結果、収支決算書及び関係帳簿等が適正である旨が猪俣監事（監査当時）の代理の富澤氏より報告

◎拍手多数により承認

※2014年度の事業計画に入る前に2014年F 1日本グランプリ大会概要について
株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット 荒木取締役鈴鹿サーキット総
支配人 説明

- ・資料『2014 F I A F 1 世界選手権シリーズ第 15 戦 日本グランプリレース開催概要』を用いて説明
- ・小林可夢偉選手の 2 年ぶり復帰，車両規定の変更など，本田技研工業株式会社の復活と絡め盛り上げていきたいと考えている。
- ・イベントではF 1の本質的魅力を訴求するイベントから将来を見据えたファミリー向けイベントまで様々な取り組みを進化させる。
- ・Honda F 1でドライブしたレジェンドドライバー『N・マンセル氏』を20年ぶりに鈴鹿に招聘し，ウィリアムズFW11のデモランなどを実施する。
- ・木曜日に行うジュニアピットウォークであるが，今年は昨年より多い9校が参加する。また，今年度より新たに小学校とF 1チームとの交流事業を行うこととし，6校で取り組まれることとなった。
- ・小林可夢偉選手応援企画として，F 1日本GPの全ての来場者に対し，『小林可夢偉応援フラッグ』を配布する。
- ・昨年より実施している鈴鹿市民応援席の販売状況については，ほぼ昨年並みに推移している。

(2) 2014年度事業計画について

①環境整備部会

事務局 鈴鹿市 菅沼商業観光課長 説明

【要旨】

- ・A 3サイズの系統図に示してある今年のテーマは，日本グランプリが2018年までの継続開催が決まっていることから，『2018年に向かって、最高のおもてなしを！』とした。
- ・それでは，資料5『環境整備部会資料』に基づき各事業者より説明をお願いしたい。

【国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所・松本氏】

- ・資料5『環境整備部会資料』P1～P6に基づき説明
- ・中勢バイパス 5 工区については，去年は開通前であったため一部工事用道路をシャトルバス専用レーンとして活用した。
- ・今年，鈴鹿警察署や鈴鹿市に中心となり動いていただき，土曜日及び日曜日の2日間について中勢バイパスの通行規制を行いシャトルバス専用レーン

として活用する方向で調整が進んでいる。

- ・高速・国道情報板等により 2 週間前から渋滞予告を流していく。
- ・主要高速インターまでの所要時間調査結果の情報を推奨ルートのチラシに掲載し、コンビニ等で情報提供する。
- ・当日は、会場内のブースで帰宅時の交通情報を提供するとともにツイッターでリアルタイム情報を集約して発信する。
- ・今年で 2 年目となる A c p r o (アクプロ) については、昨年の反省点を踏まえたうえで今年も実施する。
- ・P5・6 に A c p r o (アクプロ) のチラシを添付したが、サポーターを集めることが重要となってくるので、周知等について協議会の皆様のご協力をお願いする。

【近畿日本鉄道・落合氏】

- ・資料 5『環境整備部会資料』P7 に基づき説明
- ・今年も 10/4 (土), 5 (日) に、記載のとおり臨時列車を予定している。
- ・白子駅での取組であるが、駅前臨時乗車券発売所や仮設トイレの設置場所について現在、関係機関と協議・検討中である。

【伊勢鉄道・富澤氏】

- ・資料 5『環境整備部会資料』P8～P9 に基づき説明
- ・安全輸送を第一に、これまでの経験を踏まえ、快適でスムーズなサービス提供に取り組んでいく。
- ・地域貢献として渋滞などが起こらないように公共交通を利用していただけようしっかりと取り組んでいく。
- ・臨時列車等については、P8 に記載のとおりである。
- ・安全確保のため、引き続き鈴鹿サーキット稲生駅周辺の交通規制等をお願いしたい。
- ・2018 年までの継続開催が決まったことから、毎年仮設で対応している設備等について、恒久的な対応ができないか検討しているので、行政をはじめとする関係者には、ご協力をお願いしたい。

【三重交通中勢営業所・中林氏】

- ・資料 5『環境整備部会資料』P10 に基づき説明
- ・シャトルバスの運行については、資料のとおり。
- ・今年も、関係団体の協力により、中勢バイパス 5 工区をシャトルバス専用レーンとして利用させていただける方向で調整していただき感謝している。
- ・白子駅側の乗り場については、非常に多くのお客様がいらっしゃるの、今

年も安全かつスムーズな乗降に向けて協議・検討を進めている。

- ・シャトルバスの鈴鹿サーキット側の乗り場については、昨年に引き続き、鈴鹿サーキットの協力を得て、駐車場を乗車場所として利用予定である。
- ・本年度も名古屋からの直行バスも資料のとおり運行する予定である。

【中日本高速道路株式会社名古屋支社桑名保全・サービスセンター・折原氏】

- ・資料5『環境整備部会資料』P11～P12に基づき説明
- ・今年も、鈴鹿警察署の協力を得て、10/3（金）、10/4（土）、5（日）の3日間、鈴鹿IC出口の信号現示調整を実施する予定である。
- ・SA等休憩施設にてポスター及びチラシを配布させていただく。
- ・鈴鹿ICへの交通集中を分散化させるため、東名阪道利用者には四日市東IC出口手前、伊勢湾岸道利用者にはみえ川越IC出口手前、新名神利用者には亀山JCTにおいて標識車を配置して迂回推奨を行う。
- ・鈴鹿ICにも標識車を配置して、渋滞後尾警戒を行う。

【株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット・上野山氏】

- ・資料5『環境整備部会資料』P13～P14に基づき説明
- ・今年も直営駐車場を各方面別に約4,500台用意している。
- ・観戦客のスムーズな移動ができるように今年も各公共交通機関に対応した駐車場・ゲートを提供する。
- ・観戦客が自宅にいる時から情報を取得でき、サーキットへ向かう途中、園内、帰る途中と様々な場面で情報が得られるよう各種媒体を活用した情報発信を行っていく。

【鈴鹿市中央消防署・平井氏】

- ・資料5『環境整備部会資料』P15～P16に基づき説明
- ・F1開催期間中であっても、消防の本来業務に支障がでない範囲で対応する。
- ・消防職員の協力は、10/4（土）、5（日）の2日間とする。
- ・救急救護については、記載のと通りの体制を予定している。

【事務局 鈴鹿市 菅沼商業観光課長】

- ・資料5『環境整備部会資料』P17～P23に基づき説明
- ・鈴鹿サーキット内に設置する情報収集本部で各種の情報を集約・精査し、各媒体を通じて観戦者の皆様に情報提供を行う。
- ・懸案事項であった中勢バイパスを活用したシャトルバス運行については、三重河川国道事務所及び鈴鹿警察署のご理解ご協力により、これまで通りの運行ができるよう調整が進んでいる。

- ・ 今後は安全確保のための人員配置，ルートの確認について三重交通や鈴鹿サーキット等の関係団体と調整を進めていく。
- ・ 通行規制については中勢バイパスを一定時間，一般車両を通行させない本線規制を考えている。

○質疑・意見

【伊勢鉄道株式会社・富澤氏】

- ・ シャトルバス運行にかかる通行規制であるが，稲生町西の交差点については，鈴鹿サーキット稲生駅を利用されるお客様が通行されることから，安全確保をお願いする。

②おもてなし部会

事務局 鈴鹿市 小野観光・モータースポーツ振興G L 説明

【要旨】

- ・ それでは，資料6『おもてなし部会資料』に基づき各事業者より説明をお願いしたい。

【株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット・上甲氏】

- ・ F 1 ジュニアピットウォーク⇒10/2（木）に 5 市 1 町の小学生を対象にジュニアピットウォークを実施する。
- ・ 今年は，新たにF 1 チームとの交流が加わり，進化した形で実施させていただく。

【鈴鹿商工会議所青年部・久畑氏】

- ・ 鈴鹿商工会議所青年部F 1 応援イベント⇒メッセージオトドケ隊，くれないのチェッカーフラッグという2つのイベントを開催させていただく。
- ・ メッセージオトドケ隊は，10/3（金），4日（土）にドライバー別の国旗に観戦者からメッセージを書いていただき，4日（土）の夕方にその国旗を各ドライバーに届けて，鈴鹿をPRする取組である。
- ・ くれないのチェッカーフラッグは，観戦者に優勝ドライバーを予測してもらい，的中した方の中から抽選でF 1 決勝に使用されたチェッカーフラッグを贈呈するものである。

【鈴鹿商工会議所・酒井氏】

- ・ インフォメーション（通訳ボランティア）ブース⇒10/3（金）～4日（日）に鈴鹿サーキット，近鉄白子駅，伊勢鉄道鈴鹿サーキット稲生駅の3箇所でお

もてなしの一環として、海外から多く来られる観戦客のための通訳ボランティアを募集し配置する。

- ・ ウェルカム鈴鹿日本グランプリ感謝セール⇒日本グランプリの 2 週間前から市内の店舗・企業，約 60 社にウェルカムセールやサービスを実施していただき，それを会議所発行のチラシに掲載することにより，地域経済の活性化や事業所の売上アップ，F 1 開催前からの市内全体のムードアップにつなげた。

【鈴鹿モータースポーツ友の会・福山氏】

- ・ オリジナル絵馬で優勝祈願⇒白子駅東側にある『勝速日神社』において，サーキットを訪れるお客様に応援するドライバーの健闘や自らの交通安全を祈願していただくという取組を行っている。
- ・ 今年は更に鈴鹿商工会議所女性部の協力により，鈴鹿産かぶせ茶と小原木本舗大徳屋長久の和菓子を参拝者にふるまう予定である。

【三重県雇用経済部観光・国際局・谷合氏】

- ・ F 1 サポート宿泊施設については，三重県観光連盟と連携し，去年は桑名市，津市，松阪市にある 5 件の宿泊施設に参加いただき，F 1 開催期間中 4 日間に延べ 482 泊の利用があった。
- ・ 参加いただいた施設では，ロビーでのレース映像の上映や F 1 グッズの展示など F 1 の機運を盛り上げるような特色ある取組を行っていただいた。
- ・ 今年については，11 件の施設から協力の申し出があり，既に当協議会のホームページでお客様に案内している。
- ・ F 1 を活用した情報発信等であるが，三重県観光キャンペーンのオフィシャルガイドブックやエリアパンフレットで鈴鹿サーキットについて本県を代表するモータースポーツを体感できるアミューズメント施設として紹介しているほか，セントレアや三重テラスでの展示やイベントなどの様々な機会を捉え情報を発信している。
- ・ 三重県観光キャンペーンで発行している『みえ旅パスポート』について F 1 開催中に地元前夜祭の会場や三重県・5 市 1 町観光・物産 P R ブースでの臨時発給と特別に F 1 時専用のスタンプを押すということも考えている。
- ・ F 1 観戦客は，継続的に本県に来ていただいている方が多いので，F 1 や三重の魅力を伝えることにより，これからも本県に来ていただけるよう取り組んでいきたい。

【事務局 小野観光・モータースポーツ振興 G L】

- ・ 資料 6 『おもてなし部会資料』に基づき説明。

- ・イオンモール鈴鹿展示⇒9/27（土）～10/5（日）まで、鈴鹿市出身のフォトグラファー熱田護氏のF1写真の展示と展示初日には、尾鷲ひのきを使ったレーシングカー作りなどの体験イベントを実施する。
- ・鈴鹿日本グランプリ地元前夜祭⇒10/3（金）16：00～20：00、フレスポ鈴鹿内SUZUCOMI イベント広場において今年も開催する。世界のトップ女性ドライバー井原慶子さんのトークショーのほか、三重県ご当地キャラクターやグルメ大集合等の開催を予定している。
- ・チケット割引⇒得得クーポン、Suzuka Voice MAGAZINE、F ツイ割のクーポン参加店で日本グランプリのチケットを提示することにより割引等が受けられるようにする。共通のフラッグを掲出するとともにWeb上でマッピングする。
- ・情報発信力の強化⇒今年度の新規事業として日本グランプリ観戦客に対し、鈴鹿市を訪れる前に鈴鹿F1協議会からの情報を提供するためにF1専門誌の『GRAND PRIX Special(グランプリトクショウ)』、『F1速報』やモータースポーツ新聞として親しまれている『東京中日スポーツ』と連携を図っていく。また、ホームページ立ち上げ当時に比べ掲載情報が増えてきたことにより、当協議会のホームページのリニューアルを考えている。

(3) 2014年度予算案について

事務局 鈴鹿市 菅沼商業観光課長 説明

- ・資料7『2014年度鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会収支予算（案）』に基づき説明。
- ・なお、本年度の予算については、4月下旬に運営委員会で協議した予算案を委員の皆様へ送付させていただき、予算の執行を行う旨をご了承いただいている。
- ・収入10,908,849円、支出10,908,849円（詳細については資料7参照）。

◎拍手多数により承認（2014年度事業計画案及び予算案について一括）

(7) その他

【観光庁スポーツ観光推進室・谷氏】

- ・昨年、史上初めて訪日外国人旅行者1,000万人を達成した。官民一体になったオールジャパンの取組の結果であると思っており、この場を借りて皆様にお礼申し上げる。
- ・更に今年の1月から6月までの状況としては、昨年比26.4%増の626万人と過去最高で推移している。
- ・政府は2020年に訪日外国人旅行者2,000万人の高みを目指すこととし、その

- ための観光立国実現に向けて、アクションプログラム 2014 を 6 月に策定した。
- ・観光庁としては、この目標達成のために日本の各地が魅力的であって、外国人から見て何度も訪れたいくなるような地域づくりが不可欠であると考えている。
 - ・F 1 日本グランプリをはじめとした三重県の観光資源を活用した地域活性化、インバウンド拡大に向けて協力していくので、今後ともよろしく願います。

3 その他

事務局 鈴鹿市 菅沼商業観光課長 説明

- ・なお事業計画や予算については、変更等も出てくると思うが、その際は文書で連絡する。
- ・『2014 年度協議会・部会・作業部会・運営委員会の開催日程』に基づき説明
- ・本日の協議会を迎えるにあたり、運営委員会、各部会、作業部会などを開催しているところである。
- ・今後、10月のF 1日本グランプリ終了後に各部会で事業を検証し、その結果を1月に開催予定の協議会にて報告させていただきたいと考えているので、皆様の出席を願います。

11 : 25 終了

次回開催は 平成 27 年 1 月頃 を予定いたしております。